

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	施工 BIM 小委員会	主 査 名：金子智弥 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築生産運営委員会	委員長名：岩澤成吉 主 査 名：
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ 施工段階における BIM(Building Information Modeling)は、現状で設計細部の納まり確認などの効果が明らかだが、今後はプロジェクト情報の核として他の ICT 技術と連携した利用と効果が期待されている。本委員会では、主に施工以降の建築生産における BIM の役割や効果を整理し、今後求められる BIM の利用方法を提案する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり 金子智弥 (大林組)、志手一哉 (芝浦工業大学)、小田博志 (フジタ)、嘉納成男 (早稲田大学)、小見康夫 (東京都市大学)、平沢岳人 (千葉大学)、石田航星 (工学院大学)、高橋暁 (建築研究所)、鈴木祐美子 (戸田建設)、松崎真豊 (三井住友建設)、安井好広 (鹿島建設)、岩澤成吉 (長谷工コーポレーション)、曾根巨充 (前田建設工業)、松野義幸 (安藤建設)、平林裕治 (清水建設)、城所秀樹 (城所建設)、石岡宏晃 (清水建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	施工 BIM 調査 WG：BIM モデルの活用事例、研究課題、解決方法の調査	
2016 年度予算	24,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 施工 BIM のロードマップ作成に向けた意見交換を実施。 2. 2016/12 にアンケートによる BIM/ICT に関する技術予測の第 1 次調査を実施した。2017 年 3 月に第 2 次調査を実施し、その結果を建築学会大会 PD で報告する予定。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 今回、上記アンケートの集計に、小委員会メンバーの協力によって Web 上の無償サービスを利用した。今後は有償のサービスの利用できるとありがたい。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。